

1月16日・17日と兵庫教育大学で大学入学共通テストが実施されました。3年生の学年団はじめ進路の先生方が受験生の激



励に行かれていました。新型コロナの関係で、気を遣う受験となりましたが、皆元気に受験できたようです。随分と緊張もしているようでしたが、自己採点の結果により受験校を決めます。最後まで気を抜かずに頑張ってください。

1月18日には、体育科3年がゴルフ場でのラウンド実習に行きました。18ホールを回る実習というのは本校だけではないでしょうか。マダムJゴルフ倶楽部にご協力をいただき、休みとなる月曜日にさせていただきました。ゴルフ場の多い加東市ならではの实習ですが、例年11月に予定しているのですが、4月5月の臨時休業を受け、少しでも練習をして臨みたいとのことでこの時期になりました。寒さも気になるころですが、好天に恵まれ、ルールやマナーを学びながら最後の実習を楽しめたように思います。毎週木曜午後に練習場での打ち放し経験の成果が随所に見られ、楽しめたのではないのでしょうか。早朝から一日がかりでしたが、生徒の皆さん、体育科の先生方お疲れ様でした。また、ご協力いただきましたマダムJゴルフ



倶楽部の関係者の皆様、ありがとうございました。

1月19日からは3年生の卒業考査が始まりました。来週以降は自由登校となるため、本当の意味でのまとめとなります。体調管理に気を付けて高校最後のテストに臨んでください。また考査後は、それぞれの学科で課題研究発表があります。考査と同時進行ではありますが、自分たちが取り組んできた内容について発表することも大事なことです。準備は大変だとは思いますが、最後まで頑張りましょう。

緊急事態宣言が発出されて1週間。昨年1月に新型コロナ感染者が初めて日本で出てから1年がたったという報道がありました。昨年の今頃はこんなにも大きなことになるとは誰も思っていなかったと思います。日を追うごとに感染に対する恐怖だけが伝えられてはいたものの、身近なものとして捉えることはできませんでした。2月に入ると状況は一変し、2月末には臨時休業措置が取られ、卒業式後は入試を除いて学校生活が途絶えることとなりました。春季休業中に部活は再開できたものの4月に入ると最初の緊急事態宣言が発出。5月から6月にかけて収まりを見せ、6月に学校再開。文化祭や高校総体など目標となる学校行事や大会の中止が決定。8月以降は感染者の増加が指摘され始め第2波が到来。その後落ち着きを取り戻すも10月以降増加の一途をたどり、4月の緊急事態宣言時とは比較にならない感染者数に。最近では兵庫県も感染者200人を超え始め、100人なら少なくなったと思うくらいに感覚がマヒしているようにも思います。気を引き締めるとは自分たちのできる防止対策をしっかりとる、とり続けるということです。ご協力をお願いします。

1月20日には福田小学校へ生活科学科2年栄養班を中心としたメンバーで小高連携食育に出かけました。今年は新型コロナの影響で回数も減り、一緒に給食を食べることもなくなりましたが、給食の大切さをはじめ、栄養に関することを分かりやすく説明することを心掛け、小学生に食への興味関心を持ってもらおうと頑張っています。来年度から東条地区は小中一貫校となり東条学園小中学校になります。東条東小が145年、東条西小が128年、東条中が57年の歴史に幕を閉じるということです。ますます小中高の連携が大事になってきます。地域の学校としての自覚を生徒職員で持ち続け、地域活性化に貢献できるようにしていきましょう。

今週からは週に1度昼休みの放送で校歌も流れます。放送部の生徒が新型コロナ感染防止に関する注意とともに校歌を流しますので、親しみを感じながら聞いてください。